

# 循環器内科

## 広島市民病院 循環器内科の特徴

当科は、

1. 虚血性心疾患、
2. 末梢血管疾患、
3. 不整脈、
4. structural heart disease を中心に診療しています。

また、スタッフ全員が救命センタースタッフを兼任しています。

広島市内の三次救急に対応し、緊急の心肺停止患者、急性冠症候群、心不全の救急医療に、循環器内科が主体となって対応しています。

## 各部門について

### 1.虚血性心疾患、2.末梢血管疾患

虚血性心疾患に対して、1980年代よりいち早く冠動脈インターベンションを開始しました。また、最近では末梢血管病も増加しており、末梢血管への血管内治療の症例数も増加傾向にあります。心臓のみならず、全身の動脈硬化への集約的治療を行っています。

### 3.不整脈

心房細動を中心とした上室性・心室性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療に力を入れています。また、両心室ペーシング治療（CRT）、植え込み型除細動器などのデバイス治療にも力をいれています。

### 4. structural heart disease (弁膜症カテーテル治療)

TAVI (Transcatheter Aortic Valve Implantation) も順調に施行しております。

## 2018年の実績

### 虚血性心疾患

冠動脈インターベンション（PCI）	570
うち緊急PCI	150

### 不整脈

カテーテルアブレーション	362
うち心房細動	261

ICD&両室ペーシング	35
ペースメーカー	108

### Structural Heart Disease

TAVI (経カテーテル的大動脈置換術)	70
-------------------------	----

### 末梢血管

カテーテル治療	86
---------	----

## 指導医からのひとこと

塩出 宣雄

循環器内科主任部長兼救命センター部長

循環器内科は多忙です。夜間、休日の呼び出しも多いです。しかし、そんな状況の中でも、我々のチームと一緒に仕事をする事で、循環器の専門医として大きな力をつけることができます。ガッツのある若い先生を求めています。

